

高田東中学校 学校づくりニュース

05



2013.9.9

発行:SALHAUS

<http://takahigashi-blog.sblo.jp/>



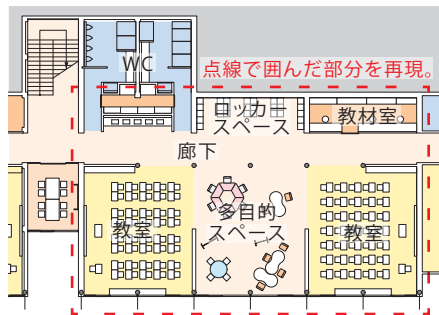
体育館全面を利用して学校づくりワークショップを開催しました!小中学生、先生、保護者に新しい中学校の大きさを体験していただきました

第3回学校づくりワークショップ開催!

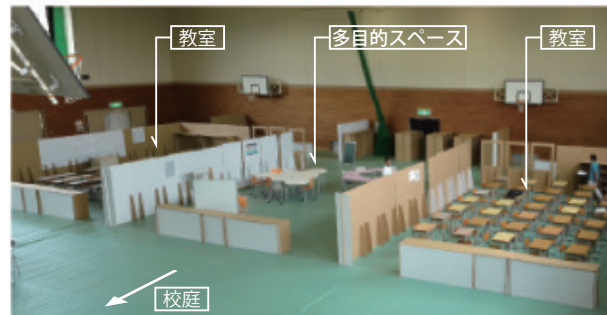
7月30日、東中体育館で第3回ワークショップが開催されました!今回は『新しい教室を体験してみよう』と題して、1学年分の教室と多目的スペースを再現して大きさを体験してもらいました!今までのワークショップと違い、図面や模型だけでなく実際にできる空間を体験することで分かることがあり、参加者から意見が飛び交う場となりました!

新しい東中の教室

木造の屋根の下に2つの教室と、その間に多目的スペースがあることが、東中の特徴の1つです。教室には大きな引戸があり、開いて多目的スペースや廊下と一体に使用することもできます。



教室と多目的スペース周辺の図面



段ボールを182枚使用して、1学年分の教室と多目的スペースを再現

教室でのグループワーク



東中クイズを通して新しい中学校について勉強してもらいました

小中学生は見慣れた教室とは違う教室を体験して、新しい学校への期待が高まったようです!「部活の盛んな東中の生徒にはスクールバックが入る大きなロッカーは嬉しいが、さらにテニスラケットなどの長物を入れるロッカーが欲しい」という意見がありました。

教員や保護者からは、かつて学んだ教室とはまるで違う新しい教室を体験して「収納するスペースがたくさんあっていい!」「もっと大胆に可動間仕切りを導入してはどうか?」など、新しい学校への期待のこもった意見がでました!

多目的スペースでのグループワーク



多目的スペース再現。家具を動かして使い方をみんなで考えました

簡単に動かすことのできる家具を使って、何ができるかを考えました。今までの中学校にはなかった場所ですが、家具を動かしたり可動間仕切りを開け閉めすることで実際に利用するイメージができ、様々な意見が出ました。「学年の掲示物を貼るスペースになるのではないか」「部活動のミーティングや委員会活動の集まりに使える!」「授業外の補習に使いそう!」など今までなかった場所の新しい使い方のアイデアが出ました。

最後に、引戸を開けて一体的に使うことで、参加者全員が集まり意見交換をしました。



勉強したり、おしゃべりしたり、多目的スペースには様々な使い方があります!



最後のまとめ。大きさを体験して鋭い意見、面白いアイデアを頂きました!



編集後記

実際の空間を体験していきいきとした意見やアイデアが出てくると、やはり体験することは大事だなと感じました!素直な感覚を持った小中学生、鋭い視点を持った大人の方々と一緒に実際の空間を経験させてもらって楽しかったです!(大学生スタッフ) (千葉工業大1名、東京理科大10名)